



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 日新商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 7490 URL <https://www.nissin-shoji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 博昭

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 吉田 健 TEL 03-3457-6254

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	29,885	1.7	570	7.2	792	9.4	479	1.4
2023年3月期第3四半期	29,386	7.4	614	49.1	874	43.0	472	1.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,324百万円 (87.3%) 2023年3月期第3四半期 706百万円 (24.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	71.75	
2023年3月期第3四半期	70.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	37,845	21,182	55.3
2023年3月期	35,062	20,057	56.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 20,913百万円 2023年3月期 19,773百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		9.00		12.00	21.00
2024年3月期		9.00			
2024年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,200	0.8	600	6.3	750	21.3	450	56.9	67.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(2024年2月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	7,600,000 株	2023年3月期	7,600,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	923,556 株	2023年3月期	923,556 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	6,676,444 株	2023年3月期3Q	6,676,444 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資持ち直しの動きに足踏みが見られたものの、個人消費や企業収益等、景気は緩やかな回復基調で推移しました。景気の先行きについては、ドル円相場が米国の景気減速と利下げ等による円安傾向の是正観測もあり、近年続いた原材料高騰に伴う物価上昇の一段落による緩やかな回復が見込まれる一方、ウクライナ情勢の長期化による資源価格の高位安定や、中国経済の下振れリスク等、不透明な状況が続いています。

石油製品販売業界におきましては、原油価格は、第3四半期期初の80ドル台から中東の紛争激化の影響を受け90ドル台へ上昇しました。その後、中国や米国の経済指標の悪化や、OPECプラスの減産幅の動向により70ドル台半ばで推移しました。国内石油製品価格は、9月に円安等の影響により最高値を記録しましたが、その後の燃料油価格激変緩和措置の新制度移行に伴い是正されております。そのような中、国内石油製品需要は、前年同期並みの販売数量となりました。

再生可能エネルギー業界におきましては、国連気候変動枠組条約第28回締約国会議(COP28)において、化石燃料からのフェーズアウト、2030年までに再生可能エネルギー容量を3倍、かつ省エネ改善率を2倍にする合意がなされ、脱炭素社会に向けた取組みの加速が期待されております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の当社グループ業績は、主に石油関連事業全体で、燃料油における円安の影響に伴う販売価格の上昇等により、売上高は29,885,326千円(前年同期比1.7%増)となりました。また、連結子会社の事業停止の影響等により、営業利益は570,184千円(前年同期比7.2%減)、前年の為替差益の反動や借入に関する支払い手数料が発生した影響等により、経常利益は792,082千円(前年同期比9.4%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期に発生した減損損失の反動等により479,027千円(前年同期比1.4%増)となりました。

セグメント別及び部門別の状況は次のとおりであります。

<石油関連事業>

石油関連事業全体につきましては、燃料油において販売価格の上昇等により、売上高は前年同期比0.7%増の27,085,709千円となりました。セグメント利益は、連結子会社の事業停止の影響等により、前年同期比4.7%減の569,952千円となりました。

(直営部門)

直営部門につきましては、燃料油において販売価格の上昇等により、売上高は前年同期比1.5%増の23,111,939千円となりました。

(卸部門)

卸部門につきましては、燃料油において前年比で販売数量が減少したこと等により、売上高は前年同期比27.2%減の198,591千円となりました。

(直需部門)

直需部門につきましては、取扱商品において販売価格の上昇等により、売上高は前年同期比7.6%増の2,920,552千円となりました。

(産業資材部門)

産業資材部門につきましては、コロナ禍後の需要回復の反動減等による合成樹脂原料及び製品の販売数量減少や、農業資材全般の価格高騰による購買意欲減退の影響等により、売上高は前年同期比27.5%減の661,095千円となりました。

(その他部門)

その他部門につきましては、CP価格(Contract Price: サウジアラビアの国営石油会社が定めるLPGの輸出基準価格)の下落に伴う販売価格の低下や、一部法人顧客における販売数量の減少等により、売上高は前年同期比18.1%減の193,530千円となりました。

<再生可能エネルギー関連事業>

再生可能エネルギー関連事業につきましては、バイオマス発電燃料であるPKS(Palm Kernel Shell: パーム椰子殻)と太陽光発電機器の販売がともに計画を下回って推移しました。しかしながら、前年同期比ではPKSの販売がプラスとなったこと等により、売上高は前年同期比15.5%増の2,308,032千円となりました。セグメント利益は、前年の太陽光発電所の販売の反動等により、前年同期比11.9%減の48,717千円となりました。

<不動産事業>

不動産事業につきましては、2022年10月に竣工した賃貸マンションであるメゾンエディアン一社が収益寄与したことや、「EDIAN (エディアン)」シリーズをはじめとする賃貸マンションの稼働が堅調に推移し、売上高は前年同期比1.5%増の491,584千円となりました。セグメント利益は、前年同期比9.0%増の290,590千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ、2,783,738千円増加し、37,845,814千円となりました。

これは、現金及び預金が720,518千円、受取手形、売掛金及び契約資産が647,291千円、商品及び製品600,249千円、投資有価証券及び関係会社株式が1,090,082千円増加したことなどによるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ、1,659,084千円増加し、16,663,400千円となりました。

これは、未払法人税等が165,342千円、賞与引当金が178,519千円減少したものの、借入金が1,119,666千円、繰延税金負債が432,129千円増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ、1,124,653千円増加し、21,182,414千円となりました。

これは、利益剰余金が338,822千円、その他有価証券評価差額金が752,381千円増加したことなどによるものです。

この結果、1株当たり純資産は前連結会計年度末と比べ、170.71円増加し、3,132.42円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の業績予想につきましては、2023年11月13日に公表いたしました業績予想から修正いたしました。詳細につきましては、本日(2024年2月13日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,841,098	4,561,616
受取手形、売掛金及び契約資産	8,457,181	9,104,472
商品及び製品	1,243,975	1,844,225
その他	581,779	257,973
貸倒引当金	△6,860	△4,415
流動資産合計	14,117,174	15,763,872
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,065,602	4,019,219
土地	5,968,859	5,969,799
その他(純額)	3,530,229	3,629,613
有形固定資産合計	13,564,690	13,618,631
無形固定資産	49,604	37,247
投資その他の資産		
投資有価証券	4,874,806	5,775,433
関係会社株式	1,385,633	1,575,089
その他	1,132,949	1,137,880
貸倒引当金	△62,783	△62,340
投資その他の資産合計	7,330,606	8,426,062
固定資産合計	20,944,901	22,081,942
資産合計	35,062,076	37,845,814
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,719,347	1,935,403
短期借入金	4,052,112	3,448,112
未払法人税等	214,048	48,705
賞与引当金	306,069	127,549
役員賞与引当金	24,050	7,380
事業整理損失引当金	136,000	136,000
その他	870,011	1,154,798
流動負債合計	7,321,638	6,857,949
固定負債		
社債	408,000	352,000
長期借入金	4,880,522	6,604,188
繰延税金負債	701,891	1,134,020
商品保証引当金	6,300	6,300
退職給付に係る負債	993,663	1,025,831
資産除去債務	182,271	186,753
その他	510,028	496,356
固定負債合計	7,682,677	9,805,451
負債合計	15,004,315	16,663,400

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,624,000	3,624,000
資本剰余金	3,281,625	3,286,817
利益剰余金	11,545,494	11,884,316
自己株式	△688,705	△688,705
株主資本合計	17,762,413	18,106,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,074,975	2,827,357
為替換算調整勘定	△53,062	△13,629
退職給付に係る調整累計額	△10,647	△6,750
その他の包括利益累計額合計	2,011,265	2,806,977
非支配株主持分	284,081	269,008
純資産合計	20,057,760	21,182,414
負債純資産合計	35,062,076	37,845,814

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	29,386,975	29,885,326
売上原価	23,671,749	24,240,172
売上総利益	5,715,226	5,645,153
販売費及び一般管理費	5,100,496	5,074,969
営業利益	614,729	570,184
営業外収益		
受取利息	2,663	5,823
受取配当金	174,255	216,753
持分法による投資利益	22,414	5,477
為替差益	30,542	—
その他	159,317	166,550
営業外収益合計	389,192	394,605
営業外費用		
支払利息	104,304	98,239
為替差損	—	32,815
その他	25,346	41,652
営業外費用合計	129,651	172,707
経常利益	874,271	792,082
特別利益		
受取保険金	—	50,061
特別利益合計	—	50,061
特別損失		
減損損失	65,750	—
事業整理損	—	35,918
その他	37,689	—
特別損失合計	103,439	35,918
税金等調整前四半期純利益	770,831	806,225
法人税、住民税及び事業税	280,785	199,088
法人税等調整額	1,976	78,614
法人税等合計	282,761	277,703
四半期純利益	488,070	528,522
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,839	49,494
親会社株主に帰属する四半期純利益	472,231	479,027

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	488,070	528,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	142,422	744,075
為替換算調整勘定	76,448	39,432
退職給付に係る調整額	△1,820	3,896
持分法適用会社に対する持分相当額	1,801	8,305
その他の包括利益合計	218,851	795,711
四半期包括利益	706,922	1,324,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	690,537	1,274,739
非支配株主に係る四半期包括利益	16,385	49,494

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	再生可能 エネルギー 関連事業	不動産事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	26,903,838	1,998,763	484,374	29,386,975	—	29,386,975
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	38,269	38,269	△38,269	—
計	26,903,838	1,998,763	522,643	29,425,244	△38,269	29,386,975
セグメント利益	597,784	55,290	266,476	919,551	△304,821	614,729

- (注) 1. セグメント利益の調整額△304,821千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「石油関連事業」セグメントについては子会社の事業活動停止等により、「不動産事業」セグメントについては賃貸借契約の終了を決定したこと等により、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当第3四半期連結累計期間において「石油関連事業」セグメントで11,378千円、「不動産事業」セグメントで54,372千円を当該減損損失に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	再生可能 エネルギー 関連事業	不動産事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	27,085,709	2,308,032	491,584	29,885,326	—	29,885,326
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	33,222	33,222	△33,222	—
計	27,085,709	2,308,032	524,806	29,918,548	△33,222	29,885,326
セグメント利益	569,952	48,717	290,590	909,261	△339,076	570,184

- (注) 1. セグメント利益の調整額△339,076千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。